



■ 企業名

タール成分などの燃焼成分を含まない炭

出 展 企 業 名	ビオトープ資源循環部（高機能炭和歌山研究所）		
商 品 名	健康の種	商 品 名	梅種子炭
代 表 者 氏 名	中 田 稔		
メ ッ セ ー ジ	<p>梅の種子をそのままの状態(種の内部に仁がある状態)で炭化するとともに、炭化の形態についてはタール成分などの燃焼成分が存在しないように炭化することによって、一般的な炭と比べて様々な効果が発現する炭となり得るといふ知見を得るに至った。 また、このようにして製作した炭は、5,000Ω以下という低い電気抵抗値(高い導電性)を示すものであった。</p>		
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.biotope.or.jp		
会 社 所 在 地	〒 649-1522	和歌山県日高郡印南町古井391-1	
工 場 等 所 在 地	〒 649-1528	和歌山県日高郡印南町西ノ地2447	
担 当 者	中 田 稔	E - m a i l	info@biotope.or.jp
T E L	0738-45-0834	F A X	



■ 生産・製造工程アピールポイント ※農産物の場合は栽培面積・年間収穫量なども記載

いま多くの市民が農業・農村に熱い視線を向けています。食の安全や食料自給率だけではありません。食の基盤である「農のシステム」をしっかり持続できるようにしなければ、食の未来も、日本の未来も危ういと気づきはじめています。自然保全、歴史文化や地域力、そして生きものや水循環など国土を保全し、「食」を守る「農」を持続的に発展させるためには、すべての国民が手をとり合い、農業・農村をサポートしなければなりません。それには、都市と農村、市民と農家の連携交流が不可欠で、「biotope ビオトープ」です。biotope ビオトープでは、梅産業の梅の種や梅の枝などの油分やタールなど燃焼成分が存在しないよう炭化(無機炭)を製造し炭のイノベーションを模索しています。

利用シート
梅の種炭(無機炭)は、お茶パックに入れてあります。お湯を沸かすと飲み物がまろやかに、何回か使用後も天日干して使用可能、梅の種炭パウダーは食品をまろやかに、また、梅の枝炭は、お米を炊く時やマドラーとして、また、インテリアなどに、ご利用ください。

カテゴリ
梅の種炭と梅の枝炭にはケースの2パターンがあります。食品としても利用しています、またペットやインテリア(風鈴)としても利用カテゴリが広がっています。



梅種子炭&梅枝炭

梅種子炭をお茶パックに入れてあります

梅種子炭パウダー

■ 品質管理情報

商品検査の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有(一具体的に)	特許第6667917号 高機能炭(無機炭)残留農薬分析報告書・梅の種炭(無機炭)分析検査結果総シアン検出せず。			
衛生管理への取組	生産・製造工程の管理	梅の種はプラム工場で種だけを冷凍保存後解凍して天日干し燃焼炉で加熱炭化を行う。			
	従業員の管理	食品衛生責任者養成講習修了書			
	施設設備の管理	食品衛生責任者養成講習修了書			
危機管理体制	担当者連絡先	担当者名または担当部署名	ビオトープ資源循環部	連絡先	090-8574-1579(中田)
	危機管理に関する対応や生産物賠償責任保険(PL保険)の加入など	共栄火災海上保険株式会社 生産物賠償責任保険			

このシートは農林水産省フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)により、作成されました。詳しくは<http://www.food-communication-project.jp/>をご覧ください。